市政世論調査の結果まとまる
生活環境改善は「公園や子どもの遊び場」

市民の皆さんから市政に対する意見や要望をお聞きする市政世論調査の結果がまとまりました。

今年は、まちづくりと住民意識、保健医療、年金制度、広報活動、行政施策の優先度をテーマに、住民基本台帳から無作為に抽出した満二十歳以上の市民二千五百人を対象に調査を実施。約七一・九%に当たる千七百九十七人から回答をいただきました。

この調査の結果から、まちづくりと住民意識、行政施策の優先度について紹介します。

問　現在住んでいる所で、どのような生活環境の改善が必要か

「公園や子どもの遊び場」が四七・一%で一番多く、次いで「排水（下水道）の状態」三三・二%、「防犯や防災」二九・七%の順となっています。

年齢別に見ると「通勤・通学・買い物などへの交通の便」、「街並みや自然の風景」は低年齢層に、「集会所や公民館などの施設」は高年齢層に多くなっています。

問　居住地と居住地の周辺地域で、今後のまちづくりの方向は

居住地では「戸建住宅中心の静かでゆとりのある街」が四〇・七%、「自然を活かしたのどかな街」三八・一%の順に多く、居住地の周辺地域では「商店街やショッピングセンターがあり買い物等に便利な街」が三六・二%、「自然を活かしたのどかな街」三三・二%の順に多くなっています。

半数を超える人が「街づくり計画は必要」と回答

問　住んでいる所の「街づくり計画（街の将来像）」が必要か

街づくり計画の必要性については、「必要である」と答えた人は五四・八%、「必要ではない」と答えた人は一〇・〇%、「どちらでもよい」と答えた人は三三・〇%になっています。

「必要である」と答えた人の割合は、性別では男性で高く、年齢別では男女とも三十代から五十代で高くなっています。

問　「街づくり」に参加するとしたら、どのような段階から参加や協力したいか＝グラフ1＝

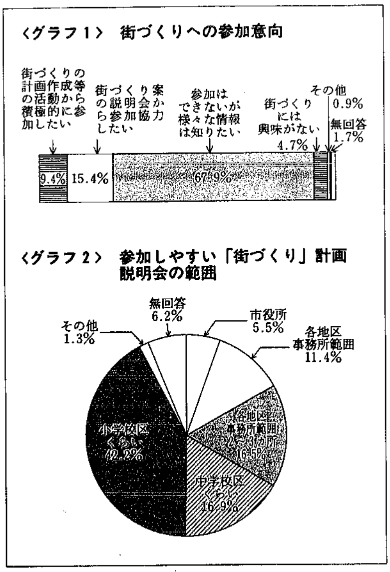
街づくりへの参加意向を聞いた問いに対して、「参加できないが、さまざまな情報は知りたい」と答えた人が六七・九%と最も多く、以下「街づくり案の説明会から参加協力したい」が一五・四%、「街づくりの計画作成等の活動から、積極的に参加したい」が九・四%、「街づくりには興味がない」が四・七%の順になっています。程度の差はあるものの九割以上の人が街づくりに関心を持っていると言えます。

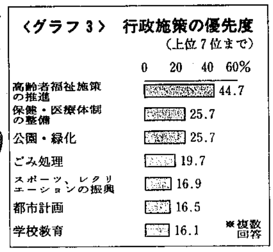
問　街づくり計画の説明会の範囲は＝グラフ2＝

参加しやすい説明会の会場設定については「小学校区くらい」が四二・二%、「中学校区くらい」が一六・九%、「各地区事務所の範囲で二～三カ所くらい」が一六・五%の順で、会場設定が細分化するほど回答が多くなっています。

施策の優先度1位は3年連続「高齢者福祉」

この質問は年ごとの市政に対する施策別の優先度を把握するものです。一位は「高齢者福祉施策の推進」、二位には「保健・医療体制の整備」と「公園・緑地」が同率で並んでいます＝グラフ3＝。





市民登場
塗装技術で労働大臣表彰
白川恒明さん（56歳、寺尾上2）

白川恒明さんは「卓越した技能者の労働大臣表彰」で、新潟県内でただ一人選ばれました。

この表彰は、伝統工芸や工業技術などの各分野で優れた技術を持つ人を表彰するもの。全国から百五十人の「現代の名工」が栄誉に輝きました。

白川さんは大学卒業後、自動車販売会社の営業マンを経て、父親の経営する塗装工場で三年間経理を担当。そのうち、塗装に興味を持つようになりました。「自分でも仕上げてみたいと、休日の工場で塗装の練習を繰り返し、見よう見まねで技術を習得した」と当時を振り返ります。

塗装の腕を磨いていく中で「経験と勘だけに頼るのではなく、誰が塗装しても、同じように仕上がるようにしたい」と、塗装技術の理論と方法の確立に励み、作業内容のマニュアル化を実行していきました。

「塗料は化学物質だから正しい使い方をすれば、そのように反応するはず。まずは塗料の性質を知らなければ」と、塗料メーカーから資料を取り寄せ、色を混ぜ合わせる割合や、焼き付ける温度、吹き付ける圧力など、一つ一つ研究を積み重ねました。こうして作成したマニュアルは、全国の自動車塗装業者の教科書となっています。

現在は、県自動車車体整備協同組合の副理事長を務める白川さん。「自分自身の技術向上はもちろんですが、私の持つノウハウ全てさらけ出し、業界全体のレベルアップを図り、塗装業を魅力あるものにしていきたい」と力強く語ります。

佐渡の伝統陶芸について
公開講座へどうぞ

市では、明鏡高校を会場に市民の生涯学習の一環として、陶芸の公開講座を開催します。

講師は、佐渡に古くから伝わる「無名異陶芸」を受け継ぐ伊藤赤水さん。佐渡金銀山の金鉱脈近くから産出する「無名異」と呼ばれる、赤褐色の粘土を素材として作品を手掛けています。

伊藤さんは、一九八五年の日本陶芸展で、最優秀作品賞・秩父宮賜杯を受けるなど数々の受賞経験があるほか、海外で行われた陶芸展に招かれ、作品を出品するなど国内外で活躍されています。

講座では、佐渡の風土と無名異陶芸の関係や、スライドで作品の解説をします。

日時　十二月十四日午後二時～三時半
会場　明鏡高校大ホール
講師　伊藤赤水（日本工芸会正会員　無名異陶五代）
演題　佐渡・無名異陶芸について
定員　先着百五十人
申し込み　生涯学習課（☎内線3254番）へ

明鏡高校で行われている陶芸講座の様子

東堀献血ルーム
冬場の献血に協力を

冬場は献血者が減り、手術などのための血液が不足します。ご協力ください。

時間　午前十時～午後一時、午後二時～午後五時半（成分献血は三十分早く終了）
場所　東堀パーク600・二階　※第2・4火曜日休み
電話　225・3301

みんなの広場
マリンピア日本海に歓迎アーチを
平澤秀三郎（雪町、83歳）

今年四月のある日曜日、九時半ころになぎさ荘の玄関を出るとすぐに、他県ナンバーのマイカーから降りた男性から「新潟の水族館はどこにあるのか」と聞かれました。いささかびっくりしながら「この右側が駐車場で、駐車場前の奥の建物がそうですよ」と教えました。

そこで私の提言です、県外からマイカーで来る人や観光バスで来る大勢の人たちを出迎えるために、マリンピア入り口の道路に「ようこそいらっしゃいましたマリンピアへ」といった文章を入れた、歓迎アーチなどを設置してはいかがでしょうか。来館者の感じもひとしお違ってくると思います。

※係から　みんなの広場ではあなたからの意見・随想やグループ活動の紹介、市への提言など（六百字以内）をお待ちしています

アクアエクササイズ教室

内容　アクアエクササイズの基本と実技
参加費　1,600円（入場料1回350円別途）
申し込み　往復はがきに教室名、住所、氏名、年齢、電話番号、希望コースを記入し各会場へ　※応募多数の場合抽選
㊎西海岸公園市営プール（関屋1-93☎267-6858）
日時　来年1月18日～3月22日午前10時15分～11時15分（全8回）
対象　成人100人
締切日　12月18日（必着）
㊎鳥屋野総合体育館屋内プール（神道寺310-1☎241-4600）
日時　来年1月18日～3月22日（全8回）Aコース…午前9時半～10時20分、Bコース…午前10時40分～11時半
対象　女性各140人
締切日　12月25日（必着）

市公民館合同展

日時　12月11日～15日午前9時～午後4時半（初日は午前10時から、最終日は午後4時まで）
会場　市美術館
内容　各公民館グループの絵画、書、写真、手工芸、文芸を展示
問い合わせ　中央公民館（☎223-7070）へ

お正月生け花（小原流）講習

日時　12月26日午前10時～11時半
会場　東地区公民館
定員　先着20人　**参加費**　2,300円
申し込み　会場（☎241-4119）へ

お正月用生け花（草月流）一日講習

日時　12月27日午前10時～正午
会場　石山地区公民館
定員　先着30人　**参加費**　2,500円
申し込み　伊沢（☎286-1979）へ

會津八一記念館
人間模様・會津八一の書簡

期間　来年1月19日まで（12月26日～1月6日と月曜は休館）
時間　午前10時～午後5時
入館料　大人500円、大学生300円、高校生200円、小・中学生100円
問い合わせ　同館（☎222-7612）へ

職業準備訓練生を募集

訓練期間　来年1月13日～3月7日
会場　新潟障害者職業センター（大山2）
内容　働くことの基本的ルールやマナー
対象　就職を目指す知的障害者・身体障害者　※専門カウンセラーとの相談あり
申し込み　12月16日までに会場（☎271-0333）へ

公民館の申し込みは月曜日から

公民館の催し物の申し込みは市報掲載日翌日の午前8時半から受け付けます。

自然科学館

開館時間　午前9時半～午後4時半
※月曜休館
入館料　小・中学生300円、高校生以上500円　※このほかプラネタリウムは小・中学生100円、高校生以上200円が必要
問い合わせ　同館（☎283-3331）へ
㊎プラネタリウム「VISITORS」
期間　来年3月2日まで
㊎プラネタリウムコンサート
日時　12月22・23日①午後1時20分②午後2時半③午後3時40分

仕事と家庭の両立を応援
電話相談　2020テレフォン新潟

相談日　土・日・休日を除く午前9時半～午後4時半
内容　育児、介護（高齢者）、家事代行などの情報提供
相談先　21世紀職業財団（☎243-2020）へ